

添付参考・1
 関連年表

江戸時代	1585(天正13年)	東横堀川(西惣構堀)の開削 (1594年説も)
	1598(慶長3年)	大坂城三ノ丸の工事に伴い、船場を開発
	1600(慶長5年)	西横堀川の開削(永瀬七郎右衛門)
	1612(慶長17年)	道頓堀に「弁天座」創設 → 元和2年武田出雲の「竹田の芝居」に安井道頓、道頓堀川の工事着手
	1615(慶長20年)	”大坂夏の陣”(元和偃武)。松平忠明が大坂藩主に。
	1615(元和元年)	道頓堀川の開削成る(安井道トほか)
	1619(元和5年)	「千日墓地」を開設 → 明治7年、阿倍野に移設 松平忠明が大和郡山藩主に転封→大坂城代を置き、大坂を天領に。 安井九兵衛が”大坂三郷南組惣年寄”に。(惣年寄:21名) 「日本橋」を架橋
	1622(元和8年)	長堀川の開削(岡田心齋ほか) (寛永2年[1625]説も)
	1626(寛永3年)	道頓堀の南側に芝居と遊廓が公許される
	1627(寛永4年)	「新町遊廓」を開設
	1636(寛永13年)	「住友銅吹所」が島之内北東部に開所 → 明治9年に閉鎖
	1637(寛永14年)	「法善寺」が現在地に移設される
	1645(正保2年)	「竹林寺」の前身「浄業院」が現在地に建立
	1652(承応元年)	道頓堀に「浪花座」、「中座」、「角座」、「朝日座」が創設
	1653(承応2年)	道頓堀に芝居名代5株が公認され、免許の印として櫓を正面に。
1661(寛文元年)	「中座」落成(名代:塩屋久郎右衛門)。	
1669(寛文9年)	「角座」が官許の櫓を揚げる(名代:大坂太左衛門)。	
1670(寛文10年)	「瑞龍寺(鉄眼寺)」再興	
1684(貞享元年)	人形浄瑠璃の「竹本座」オープン → 明和8年(1771)閉座	
1703(元禄16年)	竹本采女が豊竹若太夫を名乗り「豊竹座」創立 → 明和5年(1768)閉座	
1724(享保9年)	”妙知焼”(408町、12千戸焼失)…竹本座・豊竹座が焼失	
1732(享保17年)	”享保の大飢饉”→「難波御蔵」設置 → 翌年:「難波入堀川」開削	
1733(享保18年)	高津入堀川の開削開始 → 昭和43年、埋立	
1752(宝暦2年)	粟おこし「津の清」、二つ井戸で創業(現在は住吉区长居へ移転)	
1785(天明5年)	「心学明誠舎」創立(心齋橋筋) → 明治14年、長堀に移転	
1848(安政4年)	「新町橋小倉屋」(現・小倉屋山本)が新町橋・東で創業	
1857(嘉永元年)	宗右衛門町に茶屋株(50軒)の免許	
明治	1869(明治2年)	「小大丸」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1872(明治5年)	豊竹若太夫の芝居は「阪恵座」、筑後の芝居は「戎座」、竹田の芝居は「弁天座」として開場。
	1873(明治6年)	「心齋橋」を鉄製弓形トラス橋に架け替え
	1877(明治10年)	宗右衛門町に置屋「南地大和屋」開業 → 平成15年、閉店
	1882(明治15年)	「島之内教会」を建設 → 昭和4年、現会堂を建設
	1883(明治16年)	「法案寺」が現在地(島之内)で復興・再建
	1885(明治18年)	「阪堺鉄道」(難波～大和川)開通。…難波駅＝日本初の私鉄駅舎
	1887(明治20年)	「戎座」を「浪花座」と改める。
	1888(明治21年)	「南地演舞場」開場 浪速区日本橋に「眺望閣」(ミナミの五階)完成(7月)
	1889(明治22年)	「大阪鉄道」(現・JR関西本線)の湊町～柏原間、開通。湊町駅を開設
	1892(明治25年)	蒲鉾「大寅」が戎橋筋に開店
	1894(明治27年)	「十合呉服店」、心齋橋に開店
	1897(明治30年)	第1次大阪市域拡張(1月)
	1898(明治31年)	「難波御蔵」跡地に「専売局煙草工場」設置。 「高島屋」が心齋橋筋に開店
	1899(明治32年)	「をぐら屋」昆布店が戎橋筋に開店
	1902(明治35年)	「黒門市場」を公認
	1903(明治36年)	第5回内国博覧会が天王寺で開催(3/1～7/31)
	1904(明治37年)	「白木屋」が心齋橋筋に開店 → 大正10年、堺筋(備後町)に移転
	1904(明治37年)	「専売局・大阪第1煙草製造所」設置(7月) → 戦災で廃止
	1908(明治41年)	長堀通りに市電開通(11月) → トロリーバス化 → 昭和44年9月廃止
1910(明治43年)	「心齋橋」を石造りアーチ橋に架け替え(昭和42年完成)	
1910(明治43年)	「角丸の芝居」から改称した「朝日座」が、映画上映中心の劇場に転向	
1911(明治44年)	阪堺電気軌道の恵美須町～大小路間・開通	
1912(明治45年)	南の大火(1月)	

大正	1914(大正3年)	千日前通りの整備と市電・九条高津線(東線)開通(3月) 「楽天地」の開設 → 昭和5年、閉鎖
	1920(大正9年)	「大丸呉服店」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1922(大正11年)	「高島屋」が堺筋(長堀)に移転 → 昭和17年、ナンバ・南海店に統合
	1923(大正12年)	「松坂屋大阪店」が開店 → 昭和41年、天満橋に移転=「高島屋東別館」に 日本初の鉄骨鉄筋コンクリート建ての洋画封切館「松竹座」が開館
	1924(大正13年) 1925(大正14年)	「大阪楽天地」開業。(5月) → 1930(昭和5年):廃業。 東京を抜いて日本一の都市(人口120万人)となり、「大大阪」と呼ばれる。 「浪速区」誕生 戎橋を鉄筋コンクリート橋に架け替え
昭和	1927(昭和2年)	カフェ(キャバレー)「赤玉」開店 … 女給時代の始まり
	1928(昭和3年)	歌謡曲「道頓堀行進曲」が発表される
	1932(昭和7年)	「大阪歌舞伎座」開業(9月)…「楽天地」跡地 「南海ビルディング」完成 高島屋大阪店・開店(7月)
	1933(昭和8年)	「大丸」新本館、完成 「大阪劇場(大劇)」開業 → 平成3年、解体
	1934(昭和9年)	「室戸台風」襲来(9月21日)
	1935(昭和10年)	地下鉄御堂筋線の梅田～難波間開通。 「そごう・本店」の新ビル完成 戎橋南詰に初代「グリコネオン」設置
	1936(昭和11年)	「道頓堀橋」、御堂筋の拡幅に伴い、新規架橋(市内で最も広い橋)
	1937(昭和12年)	御堂筋(梅田～難波)が完成し、道頓堀橋架かる。(5月) キャバレー「ミス大阪」開店(日本橋4) → 昭和22年、現在地に
	1938(昭和13年)	「中央卸売市場木津配給所」(木津卸売市場)が現在地に移設
	1939(昭和14年)	「大阪花月劇場」開場 → 昭和63年、閉鎖
	1941(昭和16年)	「太平洋戦争」勃発(12月8日) → 昭和20年8月:終戦
	1941(昭和16年)	寝具「西川」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1944(昭和19年)	茶舗「宇治園」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1945(昭和20年)	「蓬萊本館」、アイスキャンデー「北極」が戎橋筋に開店
	1946(昭和21年)	「宇治香園」、「三木楽器店」が心齋橋筋(現在地)に開店 道頓堀の「今井楽器店」(大正5年)が「今井うどん店」に転向
	1947(昭和22年)	喫茶「ミツヤ」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1948(昭和23年)	「はり重本店」が松竹座の西隣に開店 「上新電機商会」が日本橋で開業
	1949(昭和24年)	道頓堀に関東煮「たこ梅・本店」開店 道頓堀に食堂「くだおれ」開店 → 昭和25年、「くだおれ太郎」登場」
	1950(昭和25年)	「大阪球場」を開設(9月) → 1998(平成元年):解体 昆布「松前屋」、心齋橋筋(現在地)に本店を開店 「ユメノクニ」、「大劇サロン」開店…アルサロの嚆矢 「ジェーン台風」襲来(9月3日)
	1952(昭和27年)	「大阪府立体育会館」(現「エディオンアリーナ大阪」)開設(12月) 「カステラ銀装」、心齋橋筋(現在地)に開店
	1953(昭和28年)	お好み焼き「大阪ぼてじゅう 本店」が戎橋筋に開店 「南街会館」竣工 (昭和13年、「南街映画劇場」として開設)
	1954(昭和29年)	「丸善石油・本社」がもと高島屋・長堀店ビルに
	1955(昭和30年)	もと朝日座跡地に「道頓堀東映」開場 → 「道頓堀ベニスビル」に
	1956(昭和31年)	弁天座の跡に、「道頓堀文楽座」が新装開場 → 昭和38年:道頓堀文楽座を「朝日座」と改称 食堂ビル「味園」竣工
	1957(昭和32年)	「ナンバ地下センター」開業(現・「NAMBAなんなん」)
	1958(昭和33年)	「千日デパート」開業(「大阪歌舞伎座」を改装:12月)。 「新歌舞伎座」が御堂筋沿いに完成 → 令和元年、「Hロイヤルクラシック」に
	1959(昭和34年)	心齋橋筋商店街アーケードのリニューアル化
	1960(昭和35年)	「久保田鉄工・本社ビル」新設 → 昭和52年、南側(現在地)に移築
	1962(昭和37年)	西横堀川を埋立 心齋橋を陸橋化 → 平成9年、横断歩道となり、モニュメントを設置 道頓堀に「かに道楽・本店」開店 戎橋商店街にアーケード完成
	1964(昭和39年)	長堀川を埋立(昭和35年から埋立開始) → 昭和46年、全埋立完了
	1966(昭和41年)	道頓堀に「づぼらや・道頓堀店」開店 「在大阪大韓民国領事館」が西心齋橋に開設

昭	1967(昭和42年)	「自安寺」(もと千日墓地の横)、現在地(東道頓堀)に移転	
	1968(昭和43年)	「大阪厚生年金会館」竣工	
	1969(昭和44年)	アメリカ村・三角公園前に喫茶「ループ(Loop)」オープン	
	1970(昭和45年)	「住江織物本社」ビルが現在地(南船場)に竣工	
		千日前通りの拡幅(幅員50m)…万博関連事業	
		地下鉄・千日前線(新深江～野田阪神)開通	
	和	1972(昭和47年)	「ミナミ地下センター」完成(翌年、全面開業) → 平成6年、「なんばウォーク」
			「千日前道具屋筋商店街」にアーケード完成
		1978(昭和53年)	「千日デパート火災」発生。(5月) → 昭和56年、ビルの解体
		1980(昭和55年)	「なんばCITY」一部開業 → 昭和55年:全館開業
1982(昭和57年)		南海・なんば駅の改良工事、完成…南寄りに移設	
1983(昭和58年)		「ホテル日航大阪」開業(9月)	
1984(昭和59年)		相合橋の新装完成。(9月)	
		「エスカール(ESCALE)ビル」竣工。(翌年:「プランタンなんば」開業)	
		→2001(平成13年):「エスカールなんば」に改称(「ビックカメラ」が入店)	
1985(昭和60年)		「角座」、「朝日座」が閉館。 → 昭和61年:角座ビル竣工	
1987(昭和62年)	「国立文楽劇場」を開設(もと市立高津小学校跡地…昭和45年移転)		
	「市立南中学校」が現在地(島之内)に移転		
平	1989(平成元年)	市立「島之内図書館」が道仁小学校跡地に開設	
		「JR湊町駅」の貨物ヤードが廃止され、「湊町リバープレイス」を開設	
	1990(平成2年)	「南海サウスタワーホテル」(現「スイスホテル南海大阪」)開業	
	1993(平成5年)	平成2～12年、「市営日本橋住宅」(1～5棟)竣工	
		アメリカ村に「BIG STEP」開業(「市立南中学校」跡地)	
	1994(平成6年)	「オーガニックビル」(小倉屋山本・本社ビル)が南船場に竣工	
	1996(平成8年)	アメリカ村に「心齋橋オーパ(OPA)」開業	
		地下鉄・鶴見緑地線、心齋橋まで延伸 → 平成9年、大正まで全線開通	
	成	1997(平成9年)	「シャネル」の直営路面店が心齋橋に開店。(世界中のブランド店が集結)
			「YES-NAMBAビル」竣工…「よしもと漫才劇場」・「NMB48劇場」
1998(平成10年)		「JR難波駅」が地下化され、「OCAT(大阪シテイターミナルビル)」が竣工	
		「松竹座」リニューアル開場	
1999(平成11年)		「クリスタ長堀」(長堀通り地下ショッピングモール)完成	
		「なんば住宅博」開場 → 平成18年、南側(現在地)に移設	
2000(平成12年)		南船場に「東急ハンズ心齋橋店」開店	
2002(平成14年)		「そごう」民事再生法・適用 → 平成17年、新築ビルで再開店	
2003(平成15年)		中座から失火・焼失。法善寺横丁も類焼	
2004(平成16年)		「なんばパークス」第1期分が開業 → 平成19年:全館開業	
	道頓堀革両岸に「とんぼりリバーウォーク」が完成(12月)		
令和	2005(平成17年)	もと中座跡に現「中座くいだおれビル」竣工	
		「愛染橋病院」が現在地に新築移転(昭和12年、開院)	
	2006(平成18年)	湊町に「難波サンケイビル」(産経新聞・大阪本社)竣工	
		「東宝南街ビル」竣工…「なんばマルイ」開店	
	2007(平成19年)	「LABIなんば」(ヤマダ電機)開業(3月)	
		「新戎橋」が完成…「平成の渡り初め」記念式典(11月)	
	2009(平成21年)	「そごう心齋橋本店」閉店 → 大丸が買い取り、北館に	
		「中座くいだおれビル」オープン(7月)	
	2011(平成23年)	湊町に「マルイ難波ビル」竣工	
		「精華小学校」閉校 → 令和元年、跡地に「エディオンなんば」開店	
2012(平成24年)	「オリックス劇場」開館(もと「大阪厚生年金会館」大ホール)		
	「南海難波第1ビル」(南海電鉄・本社)竣工		
2013(平成25年)	「大阪観光局」が南船場に開設		
	「日本橋中学校」と「浪速小学校」が小中一貫校に		
2017(平成29年)	「なんばスカイオ」ビル竣工。…旧「南海会館ビル」(1957年竣工)跡		
	2018(平成30年)		
2019(令和元年)	「大丸」本館、リニューアルオープン		